

第六十四日目

師 範：帝国議会開設から4年後、日本は東洋の大国清国と戦争になりました。
朝鮮を日清のいずれが支配するかということで対立しました。
 朝鮮の国を戦場にして、海上での戦いと陸上での戦いがありました。
いずれにも日本は勝利して、大国清を倒してしまいました。
ヨーロッパの国も驚きました。
下関で講和条約が結ばれて、多額の賠償金と、遼東半島と台湾などが日本にあ
たえられました。
日清戦争は、宣戦布告の前から戦闘が始まり、翌年まで続きました。

1894年 日清戦争が始まる。

これを覚えましょう。

コン太：では



「人は苦心の日清戦争」

「ひとは」は18、「く」は9、「し(ん)」は4です。

ペン太：次は



「清破り 一躍世に出る 大日本」

「いちやく」は189、「よ」は4です。

コン太：次に

「朝鮮を にらんで一躍 清破り」

「いちやく」は189、「し(ん)」は4です。

師 範：「いちやく」を使ったものがふたつできましたね。
最初は七・七調、2番目は五・八・五、3番目は五・八・五となっています。
語調がよいのは、これが理由ですね。
よく考えられていますよ。